

俳句

10月15日(土)
 春野町 34番札所 種間寺
 合田 青幹
 一行に大秋晴を賜りし
 情景は低き秋嶺生姜畑
 小笠原さちを
 秋高し寺に魚屋来て削ぐ
 神の旅あさきまだらも旅い行く
 11月19日(土)
 土佐市宇佐 36番札所 青龍寺
 合田 青幹
 櫻門を入れればとびとび石踏の花
 急礮の果ての本堂小鳥来る
 小笠原さちを
 千二百年逆打ち急ぐ冬遍路
 枯葦の影の林立沼に映ゆ

短歌

十二月八日と九日
 神原 忠彦
 あの日から七十五年、開戦はやばや戦艦数隻属るとラジオ、軍艦マーチで沸きしも空し
 岩波茂雄便所に落ちぬ「十二月九日」漱石没後百年となりき
 (読売新聞12月9日「編集手帳」竹内政明氏執筆)
 漱石が京の多佳女を戒めぬ、脚色し観させし「漱石悶々」
 (12月10日夜、Wブレイブムにて放映)
 初春に寄せて
 山本 晶子
 氣立て良き妻を娶りて五十年「幸せです」と教え子は言う
 幸せと思える人はこの国に何パーセントいるのだろうか
 希望に満ちた人類史などあっただろうか生きねばならぬ初日を浴びて
 七十五年
 叶岡 淑子
 開戦のラジオの声は今も耳に 七十五年前雪の札幌
 (一九四一年)
 『あたらしい憲法のはなし』教室の清新の気は今に鮮やか
 (一九四七年)
 逆流と主流世界に渦巻きて二〇一六年の歳晩迫る

水門

—丁に捧ぐ— 西村雅人

小川をゆっくり ゆっくり 流されて
 水門をくぐった所で
 君は見つかった
 安らかな顔で
 車輪の下のハンスみたいに
 別れた奥さんと
 君の娘さんと
 かわいい孫たちが
 長い争いの年月をへて
 君のお葬式で再会したよ
 どんな理由があったにしても
 親と子が
 こんなにも長いあいだ
 会えなかったのは
 ひどいことだった
 母と娘のあいだに閉ざされていた水門
 母の中にあつた水門
 娘の中にあつた水門
 君は逝くときに
 すべての水門を開いた
 もう、いいよ、と言うように
 冷たい水を渡り
 君は彼の地へ旅立った
 君のあとに
 水門をくぐって
 新しい水が
 きらきらと
 光りながら流れている

黒ニンニク

島本 聡

初月農園だより

ビギニ水爆の被害を追い続けている山下正寿氏いわく、「今が人生で一番元気です」と。その元気の秘密をそっと聞いてみると、「毎日黒ニンニクを食べている」とのこと。新種の黒いニンニクか?。認識不足でした。「黒ニンニク」とは品種の名前ではなく、普通の白いニンニクを遠赤外線灯で20日から40日かけて加熱熟成したもので、青森県で日本の8割を生産しているその効用は、糖尿病、高血圧、大腸をきれいにする...



年齢を重ねても若々しくありたい方、充実した日々を送りたい方、いつまでも趣味やスポーツに・・・などかサプリメントの宣伝と同じ。値段は、1kg5000円とか、高い・・・このことを同僚に話すと、私はすでに食している、さらに製造方法も、「電気釜で3、4週間保温の状態でおいておけば、白ニンニクが発酵して黒くなるし、匂いもなくなり、甘くて食べやすくなる。」「1日に三片しか食べてはいけないよ」と注意をされる。それなら大量のニンニクを植え付けなくては。毎年植え替えるように適度にばら蒔き、雑草除けにわらをかけおく簡単な植え方から、丁寧に黒マールシートを使い、15cm間隔で蒔き直す。黒ニンニクを黒酢でつけて食し、フ



ルマラソンを完走する。その4kmのジョギングができたように、念じつつ900片のニンニクを植え付けた。ニンニクに気を取られて、玉ねぎの植え付けが遅れてしまった。8月終わりから、育てていた3000〜4000本の苗、鉛筆ぐらゐに育っているだろうと苗床を見に行ったらとところ、あれ苗が消えている?。慌てて近くの育苗売り場へ行くも、すべての品種が売り切れとのこと。ならばと、日曜市に朝7時半から向かう、10数店回るも玉ネギの苗はおいてない。「どうして?」とたずねると「長雨で、消えてしまったのよ、時々でている苗は、ハウスで育てたがよ。」とのこと。しかたがない、来年は玉ネギのかわりに、ニンニクを食べべて生きることしよう。